
中国情報 (WTO/FTA・貿易・安全・その他)

2009年3月19日号

©2009年1～2月における中国の小麦市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年1～2月における小麦市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内価格は安定しつつも上昇

2009年1月は春節（旧正月。2009年は1月26日）やコスト動向などから、国内の小麦価格は前月比1%前後上昇した。2月も小麦価格は上昇を続け、鄭州市（河南省の省都）食糧卸売市場における普通小麦（一般品質の小麦）価格は1トン当たり1,825元、前月比2.53%高・前年同月比16.99%高となった。同じく優良小麦の卸売価格は1,980元で、前月比1.02%高・前年同月比19.28%高となった。

2 国際小麦価格は再び下落

2009年2月の国際小麦価格は、1月に小幅に反発した後、全面的に下落した。米国メキシコ湾における硬紅冬小麦（蛋白質含有量12%）の平均離岸価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり241.75ドル、前月比7.09%・前年同月比43.05%となった。硬紅春麦（蛋白質含有量14%）の平均FOB価格は311.75ドル、前月比6.21%安・前年同月比61.73%安となった。先物については、2月のカンザス先物取引所における硬紅冬麦の平均先物価格は208.45ドル、前月比6.51%安・前年同月比48.3%となった。ミネアポリス取引所における硬紅春麦の平均先物価格は233.46ドル、前月比3.02%安・前年同月比63.23%安となった。

3 内外価格差は引き続き縮小

2009年2月の内外価格差は、引き続き縮小した。米国メキシコ湾における硬紅冬小麦のFOB価格を1トン当たり1,653元とすると、国内生産地の優良小麦卸売価格に比べ327元低かった。通関渡し価格(Duty Paid: CIF+関税等)は2,283元で、同時期の国内優良小麦の南方消費地区における卸売価格に比べ53元高く、価格差は前月よりも74元縮小した。

4 2008年の中国の小麦輸出入量は大幅減

海関統計によると、2008年の中国の小麦及び小麦製粉輸出量は、前年比89.9%減の31万トンとなった。同じく輸入量は、57.2%減の4.3万トンとなった。

5 世界の小麦生産量は増加の見込み

国連食糧農業機関(FAO)の2009年2月の報告によると、2008/09年度の世界の小麦生産量は、前年度比12.4%増の6.86億トンと見込まれている。また、消費量は5.2%増の6.49億トン、在庫量は24.1%増の1.83億トンと予測されている。